

財務状況を全般的に説明する資料

◆ 事業活動収支計算書の予算対比について

教育活動収支の収入は94,949千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金47,105千円の減、手数料3,033千円の増、寄付金7,903千円の減、経常費等補助金24,047千円の増、付随事業収入96,596千円の増、雑収入26,281千円の増です。付随事業収入の増は、主に留学生の寮費収入増によるものです。

教育活動収支の支出は277,533千円の減となり、内訳は、人件費119,879千円の減、教育研究経費419,379千円の減、管理経費239,746千円の増、徴収不能額等21,979千円の増で、教育研究経費では報酬委託手数料の減少の他、学生寮に係る経費について管理経費の補助活動事業支出に科目振替したことも大きく影響しています。また、これが管理経費増加の最大の要因ともなっています。結果、収支はマイナスの予算から51,450千円のプラスとなりました。

教育活動外の収入は11,942千円の増で、主な要因は収益事業収入8,970千円の増です。教育活動外の支出は572千円の増となり、結果、収支は11,370千円マイナス幅が縮小しました。経常収支差額については、383,852千円増で25,730千円のプラスとなりました。

特別収支の収入は6,974千円の増となり、要因は現物寄付6,974千円の増です。特別収支の支出は18,498千円の増となり、要因はすべて資産処分差額の増で、結果、収支は11,524千円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額は372,328千円増の470,049千円となりました。

基本金組入額につきましては84,913千円となっています。

◆ 事業活動収支計算書の前年度対比について

教育活動収支の収入は987,260千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金805,727千円の増、手数料14,786千円の増、寄付金7,841千円の増、経常費等補助金915千円の減、付随事業収入116,849千円の増、雑収入42,972千円の増です。学生生徒等納付金の増で大きな要因は、留学生や宝塚医療大学和歌山保健医療学部の学納金などです。寄付金は一般寄付金7,908千円の増が主な要因です。経常費等補助金の内訳は国庫補助金が10,815千円の減、都道府県補助金が834千円の減、市町村補助金が4,060千円の増、その他補助金6,674千円の増となっています。付随事業収入116,849千円増は、補助活動収入115,243千円の増が大きく影響しています。雑収入42,972千円増は、施設設備利用料20,383千円とその他の雑収入24,023千円の増が主な要因です。

教育活動収支の支出は175,352千円の増となり、内訳は、人件費106,881千円の増、教育研究経費337,467千円の増、管理経費289,881千円の減、徴収不能額等は20,885千円の増で、人件費の内訳は、教員人件費79,496千円の増、職員人件費27,598千円の増、その他の人件費213千円の減です。教育研究経費は報酬委託手数料200,477千円の増や光熱水費55,718千円の増および奨学費34,336千円の増などが大きな要因です。管理経費では寄付金556,840千円減となる一方で補助活動事業支出が162,674千円、広報費29,114千円、賃借料22,791千円などが増加しています。結果、収支は811,908千円増で51,450千円のプラスとなりました。

教育活動外の収入は3,637千円の増はその他の受取利息・配当金3,017千円増が主な要因です。

教育活動外の支出は6,541千円の減で、主な要因は借入金利息6,413千円の減です。結果、収支は10,178千円マイナス幅が縮小しました。

経常収支差額については822,086千円増で25,730千円のプラスとなりました。

特別収支の収入は現物寄付3,046,709千円減の影響で2,975,123千円減となり、特別支出63,772千円減となり、結果、収支差額は2,911,351千円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額は2,089,265千円の減となりました。

基本金は、昨年度組入額対比3,328,181千円減で84,913千円の組入れとなりました。